

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年10月25日(2018.10.25)

【公表番号】特表2017-538336(P2017-538336A)

【公表日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-049

【出願番号】特願2017-523389(P2017-523389)

【国際特許分類】

H 04 B	1/40	(2015.01)
H 04 W	88/02	(2009.01)
H 04 W	88/06	(2009.01)
H 04 W	52/02	(2009.01)
H 04 B	1/00	(2006.01)
H 04 B	17/12	(2015.01)
H 04 B	17/21	(2015.01)

【F I】

H 04 B	1/40	
H 04 W	88/02	1 4 0
H 04 W	88/06	
H 04 W	52/02	1 1 0
H 04 B	1/00	2 5 3
H 04 B	17/12	
H 04 B	17/21	

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器(UE)におけるワイヤレス通信の方法であって、

少なくとも前記UEの第1の無線機および前記UEの第2の無線機と通信可能に結合された前記UEの共用アンテナを使用して通信するステップと、

前記第1の無線機のスリープモードへの次の遷移を識別するステップと、

前記第1の無線機の前記スリープモードへの前記次の遷移に少なくとも部分的に基づいて、前記第1の無線機によって、前記第2の無線機の前記共用アンテナの同調コードを調整するステップと

を備える、方法。

【請求項2】

前記共用アンテナの前記同調コードを調整する前記ステップが、

前記第2の無線機に同調コード照会を送信するステップと、

前記同調コード照会に応答して同調コード応答を受信するステップと、

前記同調コード応答に少なくとも部分的に基づいて、前記第1の無線機によって、前記第2の無線機の前記共用アンテナの前記同調コードを調整するステップと

を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記同調コード応答が、第2の無線同調コード、または第2の無線周波数帯域、または第2の無線タイミング、または第2の無線帯域幅、または第2の無線電力、またはそれらの組合せのうちの少なくとも1つを備える、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記共用アンテナの前記同調コードを調整する前記ステップが、

前記第2の無線機の同調コードの履歴記録にアクセスするステップと、

前記第2の無線機の同調コードの前記履歴記録に少なくとも部分的に基づいて、前記第1の無線機によって、前記共用アンテナの前記同調コードを調整するステップとを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記共用アンテナの前記同調コードを調整する前記ステップが、

同調コードの前記履歴記録内の近況における同調コードにアクセスするステップと、

前記近況における同調コードに少なくとも部分的に基づいて、前記第1の無線機によって、前記第2の無線機の前記共用アンテナの前記同調コードを調整するステップとを備える、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記第2の無線機から前記共用アンテナを使用して信号を送信するステップをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記送信された信号に少なくとも部分的に基づいて、測定値を受信するステップと、

前記受信された測定値に少なくとも部分的に基づいて、前記第1の無線機によって、前記第2の無線機の前記共用アンテナの前記同調コードを調整するステップとをさらに備える、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

ユーザ機器(UE)におけるワイヤレス通信のための装置であって、

少なくとも前記UEの第1の無線機および前記UEの第2の無線機と通信可能に結合された前記UEの共用アンテナを使用して通信するための通信マネージャと、

前記第1の無線機のスリープモードへの次の遷移を識別するためのスリープ決定器と、

前記第1の無線機の前記スリープモードへの前記次の遷移に少なくとも部分的に基づいて、前記第1の無線機によって、前記第2の無線機の前記共用アンテナの同調コードを調整するためのチューナとを備える、装置。

【請求項9】

前記共用アンテナの前記同調コードを調整するための前記チューナが、

前記第2の無線機に同調コード照会を送信するための前記チューナと、

前記同調コード照会に応答して同調コード応答を受信するための前記チューナと、

前記同調コード応答に少なくとも部分的に基づいて、前記第1の無線機によって、前記第2の無線機の前記共用アンテナの前記同調コードを調整するための前記チューナとを備える、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

前記同調コード応答が、第2の無線同調コード、または第2の無線周波数帯域、または第2の無線タイミング、または第2の無線帯域幅、または第2の無線電力、またはそれらの組合せのうちの少なくとも1つを備える、請求項9に記載の装置。

【請求項11】

前記共用アンテナの前記同調コードを調整するための前記チューナが、

前記第2の無線機の同調コードの履歴記録にアクセスするための履歴記録と、

前記第2の無線機の同調コードの前記履歴記録に少なくとも部分的に基づいて、前記第1の無線機によって、前記共用アンテナの前記同調コードを調整するための前記チューナとを備える、請求項8に記載の装置。

【請求項12】

前記同調コードを調整するための前記チューナが、  
同調コードの前記履歴記録内の近況における同調コードにアクセスするための前記履歴記録と、

前記近況における同調コードに少なくとも部分的に基づいて、前記第1の無線機によつて、前記第2の無線機の前記共用アンテナの前記同調コードを調整するための前記チューナと

を備える、請求項11に記載の装置。

【請求項 1 3】

前記通信マネージャがさらに、前記第2の無線機から前記共用アンテナを使用して信号を送信するためのものである、請求項8に記載の装置。

【請求項 1 4】

前記送信された信号に少なくとも部分的に基づいて、測定値を受信するための同調品質マネージャをさらに備え、

前記チューナがさらに、前記受信された測定値に少なくとも部分的に基づいて、前記第1の無線機によつて、前記第2の無線機の前記共用アンテナの前記同調コードを調整するためのものである、請求項13に記載の装置。

【請求項 1 5】

請求項1から7のいずれか一項に記載の方法を実行するための命令を含む、コンピュータプログラム。